

劔山本宮御由緒畧記

阿波國麻植郡木屋平村川上、富士ノ池

郷社

劔神社

祭神 素盞男命
同 安徳天皇

由緒

此御社は古來劔山本宮と稱し奉り

安徳天皇治承四年六月二日都を攝津國福原に遷し賜ひ次て又兵
乱を避けさせ讃州屋島より檀の浦に移らせ崩御と稱せさせて平
國盛等帝を奉し密かに伊豫國大三島を経夫れより山路阿波國祖
谷に行幸あらせりしが源氏の追尾を思ひ計り終に麻植郡木屋
内裏村に行在所を定め賜ふ世に所謂三内裏とは攝津福原讃岐板
屋阿波小屋之なり而して天日未だ晴れず源氏の盛大に引換へ御
姻戚なる平家の逆境を挽回なさしめんため此四國太郎山の半復
即今の不思議の池に

天皇御佩せの御劔を天に奉りて武運長久の御祈願ありし故此山
を劔山と改稱し詔して其所に神社を建築せしめて御劔の神靈素
盞男命を祀らさしめ賜ひしを以て後世村民其御詔旨を畏み帝を
合せ祭り現在の御本殿拜殿等皆阿波の國守蜂須賀家より享保九
年十一月十八日上棟を始め元文元年六月二十八日正遷宮を終り
たる建築物なり

棟札ノ寫

享保九龍集 阿陽淡陰大守綱矩公拜領仕置長谷川
甲辰年仲冬十八日
當山繁昌御城内安全御武運長久

奉再建立劔大權現宮一社遷宮別當利劔山
御願主阿陽淡陰大守御山御建立所

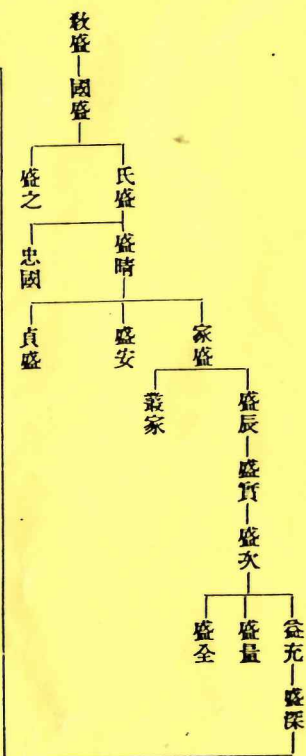
時元文元丙辰竜集禊林鐘廿有八日
龍光寺現住道義法印欽言

伴信友の殘櫻記中

會津人大竹政文の(山路の假標)に云ふ

曾谷の近邊木谷平山に劔神社あり

帝(安徳)の深そぎの御毛と紐刀を藏めたる宮なりとあり



増盛-定盛-盛忠-盛經-盛勝-安盛-唯之介-幾太郎

一森神社 祭神 大山祇神	二森神社 祭神 宇賀魂神
御藏石神社 同 石凝姥神	岩室神社 同 鳴雷神
兩劔神社 同 素盞男命	福將神社 同 事代主命
枝折神社 同 猿田彦命	身禊川神社 同 直日神
卷淵神社 同 水波女命	
總山五百八十五末社	